



## 平成27年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年1月9日

上場会社名 株式会社 中北製作所  
コード番号 6496 URL <http://www.nakakita-s.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中北 健一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 林 昌宏

四半期報告書提出予定日 平成27年1月13日 配当支払開始予定日

TEL 072-871-1331

平成27年2月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年5月期第2四半期の業績(平成26年6月1日～平成26年11月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第2四半期	8,188	△13.9	417	△36.3	518	△31.3	323	△29.4
26年5月期第2四半期	9,511	3.3	655	104.5	755	81.4	458	115.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第2四半期	17.12	—
26年5月期第2四半期	23.99	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年5月期第2四半期	25,328	19,380	76.5	1,025.28
26年5月期	25,298	19,181	75.8	1,014.72

(参考)自己資本 27年5月期第2四半期 19,380百万円 26年5月期 19,181百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	7.50	—	12.50	20.00
27年5月期	—	10.00	—	—	—
27年5月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年5月期の業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	△10.3	840	△37.8	1,040	△32.0	650	△29.2	34.39

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年5月期2Q	19,164,000 株	26年5月期	19,164,000 株
27年5月期2Q	261,318 株	26年5月期	260,325 株
27年5月期2Q	18,902,965 株	26年5月期2Q	19,109,422 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、世界経済・為替相場変動等の様々な不確定要因により、予想数値と異なる可能性があります。

なお、詳細は(添付資料)2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	8
4. 補足情報 .....	9
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における世界経済は、米国経済の緩やかな回復があるものの、新興諸国における経済成長の鈍化、欧州経済の低迷などもあり、先行き不透明な状況が続いておりました。

わが国経済は、政府による経済政策等を背景に、雇用情勢の改善や設備投資の増加傾向もあり、景気は緩やかな回復基調にありました。

このような経営環境にあつて当社は、主要販売先であります造船業界において積極的な受注活動を展開し、ガスタービン・火力発電用バルブの受注にも注力いたしました。

当第2四半期累計期間における受注高は、8,553百万円(対前年同期比3.7%減)となり、331百万円前年同期を下回りました。品種別に見ますと、自動調節弁4,145百万円、バタフライ弁2,143百万円、遠隔操作装置2,264百万円となり、対前年同期比では、それぞれ153百万円減、151百万円増、330百万円減となり、自動調節弁、遠隔操作装置については前年同期を下回りましたが、バタフライ弁の受注高は前年同期を上回る結果となりました。

売上高では、8,188百万円(対前年同期比13.9%減)となり、1,323百万円前年同期を下回りました。品種別では、自動調節弁4,345百万円、バタフライ弁1,893百万円、遠隔操作装置1,950百万円となりました。また、輸出関連の売上高は、前年同期を201百万円下回る1,564百万円となりました。

この結果、当第2四半期会計期間末の受注残高は期首に比べて364百万円増の10,254百万円となりました。

利益面においては、経常利益が518百万円(対前年同期比31.3%減)、四半期純利益は、323百万円(対前年同期比29.4%減)となり、いずれも前年同期を下回りました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は、前期末と比べ30百万円増加の25,328百万円となりました。これは主として、現金及び預金が306百万円、有価証券が200百万円、棚卸資産が179百万円増加したものの、売上債権が636百万円減少したこと等によるものであります。

負債の部は、前期末と比べ168百万円減少の5,947百万円となりました。これは主として、退職給付引当金が168百万円増加したものの、未払法人税等が347百万円減少したこと等によるものであります。

純資産の部は、前期末と比べ198百万円増加の19,380百万円となりました。これは主として、四半期純利益323百万円、配当金の支払236百万円、退職給付に関する会計基準等の適用による減少120百万円により、利益剰余金が16,435百万円となったこと、また、その他有価証券評価差額金が438百万円(前期末と比べ232百万円の増加)となったこと等によるものであります。

当第2四半期累計期間のキャッシュ・フローについては、営業活動によるキャッシュ・フローは主として、税引前四半期純利益が518百万円(対前年同期比31.3%減)であり、減価償却費137百万円(対前年同期比10.1%減)、売上債権の減少による収入636百万円(前年同期は売上債権の増加による支出1,150百万円)があつた一方、棚卸資産の増加による支出179百万円(前年同期は棚卸資産の減少による収入43百万円)、法人税等の支払額539百万円(前年同期は法人税等の支払額16百万円、還付額147百万円)があつたことにより、498百万円の収入(対前年同期比8.5%減)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは主として、有価証券の償還による収入100百万円(対前年同期比90.5%減)、投資有価証券の償還による収入300百万円があつた一方、有価証券の取得による支出301百万円(対前年同期比0.4%増)、固定資産の取得による支出79百万円(対前年同期比4.2%減)があつたことにより、44百万円の収入(前年同期は140百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは主として、配当金の支払額236百万円(対前年同期比63.5%増)があつたことにより、236百万円の支出(対前年同期比7.6%減)となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月期の業績予想につきましては、平成26年7月8日に公表いたしましたものを修正しております。

なお、詳細につきましては、本日(平成27年1月9日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

##### （退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期累計期間の期首の退職給付引当金が187,373千円、繰延税金資産が66,779千円それぞれ増加し、利益剰余金が120,593千円減少しております。また、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ1,446千円減少しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,655,049	6,961,429
受取手形及び売掛金	6,489,787	5,823,189
電子記録債権	1,013,530	1,044,021
有価証券	600,560	801,338
商品及び製品	877,072	1,022,577
仕掛品	1,410,320	1,419,265
原材料及び貯蔵品	1,431,253	1,455,935
その他	727,309	750,665
貸倒引当金	△37,710	△34,530
流動資産合計	19,167,174	19,243,892
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,551,106	1,551,106
その他(純額)	1,772,816	1,701,035
有形固定資産合計	3,323,922	3,252,141
無形固定資産	31,611	26,258
投資その他の資産		
投資有価証券	2,600,637	2,655,481
その他	176,230	152,069
貸倒引当金	△1,467	△1,467
投資その他の資産合計	2,775,400	2,806,082
固定資産合計	6,130,934	6,084,482
資産合計	25,298,108	25,328,375
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,886,378	2,884,454
1年内返済予定の長期借入金	1,850,000	1,850,000
賞与引当金	218,000	222,000
製品保証引当金	110,000	104,000
未払法人税等	555,633	208,488
その他	346,515	298,699
流動負債合計	5,966,527	5,567,643
固定負債		
退職給付引当金	17,355	185,540
役員退職慰労引当金	45,160	45,160
資産除去債務	36,023	36,329
その他	51,129	113,085
固定負債合計	149,668	380,115
負債合計	6,116,195	5,947,758

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年11月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,150,000	1,150,000
資本剰余金	1,479,586	1,479,586
利益剰余金	16,469,042	16,435,840
自己株式	△122,345	△122,916
株主資本合計	18,976,283	18,942,511
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	205,629	438,105
評価・換算差額等合計	205,629	438,105
純資産合計	19,181,913	19,380,616
負債純資産合計	25,298,108	25,328,375

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
売上高	9,511,808	8,188,635
売上原価	8,017,947	6,939,327
売上総利益	1,493,860	1,249,308
販売費及び一般管理費	838,208	831,896
営業利益	655,652	417,411
営業外収益		
受取利息	29,249	23,922
受取配当金	20,907	23,575
不動産賃貸料	41,900	43,344
為替差益	5,464	9,263
雑収入	11,204	9,575
営業外収益合計	108,726	109,680
営業外費用		
支払利息	8,281	7,872
雑損失	456	407
営業外費用合計	8,737	8,279
経常利益	755,641	518,813
税引前四半期純利益	755,641	518,813
法人税等	297,118	195,125
四半期純利益	458,523	323,688



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	755,641	518,813
減価償却費	152,667	137,215
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,770	△3,180
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,000	4,000
製品保証引当金の増減額(△は減少)	6,000	△6,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△12,887	△19,187
受取利息及び受取配当金	△50,157	△47,497
支払利息	8,281	7,872
売上債権の増減額(△は増加)	△1,150,154	636,108
たな卸資産の増減額(△は増加)	43,827	△179,132
前渡金の増減額(△は増加)	2,000	—
仕入債務の増減額(△は減少)	557,000	△1,923
その他	48,923	△54,942
小計	370,912	992,146
利息及び配当金の受取額	51,431	53,182
利息の支払額	△8,103	△7,786
法人税等の支払額	△16,721	△539,070
法人税等の還付額	147,308	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	544,826	498,471
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	△500,000	—
有価証券の取得による支出	△300,570	△301,797
有価証券の償還による収入	1,051,517	100,000
投資有価証券の取得による支出	△305,769	△300
投資有価証券の償還による収入	—	300,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△82,868	△79,373
その他	△3,220	26,305
投資活動によるキャッシュ・フロー	△140,910	44,834
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△144,583	△236,356
自己株式の取得による支出	△111,852	△570
財務活動によるキャッシュ・フロー	△256,435	△236,927
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	147,480	306,378
現金及び現金同等物の期首残高	2,044,764	2,155,007
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,192,244	2,461,386

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、バルブ及び遠隔操作装置製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載は省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

1. 生産実績

(単位:千円)

期 別	26年5月期第2四半期 (25/6~25/11)		27年5月期第2四半期 (26/6~26/11)		26年5月期 (25/6~26/5)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	構成比%
自動調節弁	4,359,772	46.0	4,372,719	53.1	8,792,002	48.6
バタフライ弁	2,714,347	28.7	1,905,320	23.1	4,642,846	25.7
遠隔操作装置	2,395,446	25.3	1,962,549	23.8	4,657,704	25.7
合 計	9,469,565	100.0	8,240,588	100.0	18,092,552	100.0

2. 受注状況

受注高

(単位:千円)

期 別	26年5月期第2四半期 (25/6~25/11)		27年5月期第2四半期 (26/6~26/11)		26年5月期 (25/6~26/5)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	構成比%
自動調節弁	4,298,300	48.4	4,145,249	48.5	8,966,909	48.4
バタフライ弁	1,991,305	22.4	2,143,247	25.1	4,511,287	24.3
遠隔操作装置	2,595,577	29.2	2,264,936	26.4	5,061,627	27.3
合 計	8,885,182	100.0	8,553,432	100.0	18,539,823	100.0

受注残高

(単位:千円)

期 別	26年5月期第2四半期 (25/11)		27年5月期第2四半期 (26/11)		26年5月期 (26/5)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	構成比%
自動調節弁	4,417,568	48.5	4,326,542	42.2	4,526,444	45.8
バタフライ弁	2,042,803	22.4	2,824,166	27.5	2,574,227	26.0
遠隔操作装置	2,650,380	29.1	3,104,130	30.3	2,789,370	28.2
合 計	9,110,751	100.0	10,254,838	100.0	9,890,041	100.0

3. 販売実績

(単位:千円)

期 別	26年5月期第2四半期 (25/6~25/11)		27年5月期第2四半期 (26/6~26/11)		26年5月期 (25/6~26/5)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	構成比%
自動調節弁	4,375,432	46.0	4,345,151	53.1	8,935,165	48.6
バタフライ弁	2,729,889	28.7	1,893,308	23.1	4,718,447	25.7
遠隔操作装置	2,406,487	25.3	1,950,176	23.8	4,733,547	25.7
合 計	9,511,808	100.0	8,188,635	100.0	18,387,159	100.0
うち輸出高	1,766,119	18.6	1,564,812	19.1	3,379,070	18.4